

会津若松市総合計画審議会（第3回）議事要旨

- 1 日時 平成28年3月30日（水）16時～17時30分
- 2 場所 ルネッサンス中の島
- 3 出席者 委員12名（別紙委員名簿のとおり）
オブザーバー 2名（別紙名簿のとおり）
事務局：企画調整課長、企画調整課職員3名

（次第）

- 1 開会
- 2 議事
 - （1）総合計画策定に係る各種会議・ワークショップの検討結果について
 - （2）市民等アンケート結果について
 - （3）総合計画基本構想について
 - （4）平成28年度の審議会開催スケジュール案について
- 3 閉会

▼開会（進行：事務局員）

▼議事（進行 会長）

- （1）総合計画策定に係る各種会議・ワークショップの検討結果について
（別紙資料に基づき事務局より説明）

（主な質疑）

【委員】

あいづ創生市民会議での意見で「交通機関が充実している」というものがあるが、どういう観点からなのか。

【事務局】

市民の皆さんのそれぞれの考えを記載しているので、会議参加者がそう認識しているものと捉えている。

【委員】

今後、公共交通機関の利便性については、市民の皆さんから様々な意見が出ると思うが、総合計画策定に当たってはそれを十分に考慮されたい。

【委員】

庁舎の整備の検討経過について伺いたい。

【事務局】

庁舎検討懇談会からは、位置については現在の本庁舎及び、その周辺での総合庁舎が望ましいという意見が出された。ただし、高層化する場合は景観的な配慮から、現在の分庁舎の活用やICTを生かした機能配置を行うべきといった附帯意見もあった。結論として現在の本庁舎敷地での総合庁舎整備を基本とし、栄町の分庁舎を含むエリア全体で整備を図るべきとされた。

今後は、総合計画に位置づけて詳細を検討していく。

【委員】

庁舎整備については、様々な市の各種会議体に関係すると思うが、市民に連携がみえるようにしてほしい。

【事務局】

実際の庁舎のデザインや事務所機能などは、今後詳細な検討を進めていく。その過程で市民の方々の意見も踏まえていく。

【委員】

今後、行政のサービスを市民が庁舎に行かなくても受けられるようにしていく考えなのか。それによって、庁舎に求められる役割が変わってくる。過去の検討の内容等や市民との関わりは考察したのか。

【事務局】

庁舎検討懇談会の委員には、これまでの経過を踏まえていただいた上で議論をしていただいた。今後は情報通信技術や市民センター等でのサービスなどを勘案し、庁舎がどの程度スリム化できるか等、分析していく。

【委員】

各種会議やワークショップでの意見、中には相反するものを含めて多数出されているが、これらを今後どう計画に反映していくかが課題ではないか。

【事務局】

提案された多数の意見をどう計画に反映していくか、現在庁内でこれまでの多数の意見や提案をチェックしながら計画にどう位置付けるか議論している。

(2) 市民等アンケート結果について（別紙資料により事務局より説明）

（主な質疑）

【委員】

アンケートについて世代別、男女別なども分かるのか。

【事務局】

把握している。

【委員】

アンケートの数字はサンプリング的に有効な数字であるのか。

【事務局】

統計的には有効な数字である。

(3) 総合計画基本構想について（別紙資料に基づき事務局より説明）

（主な質疑）

【委員】

第6次総合計画から第7次総合計画に継続する施策はあるのか。また第6次総合計画の結果をどう評価しているのか。順調に進捗している施策とそうでないものについては、次の計画での1つの題材になるのではないか。

【事務局】

一昨年度から行政評価システムを第6次総合計画の総括になるような様式に変えて、施策を評価している。

【委員】

民間であるとKPIが発生する。第7次総合計画では、計画の効果を示すKPIを示すことはできないか。感想となるが効果の「見える化」の仕掛けがあったら良いと思う。

【事務局】

KPIを示すことは計画の効果を示す上で有効である。ただし、計画で想定している期間である10年の間に状況は、めまぐるしく変わる。KPIの設定については、これらを勘案し検討していく。

▼閉会（事務局）